

2025年
新6年志望校別特訓説明会

神戸女学院特訓

日能研関西

■ 学校概要

◆ アクセス ◆

学校法人神戸女学院 神戸女学院中学部・高等学部

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4-1

○阪急「門戸厄神」駅より正門を通して中高部1号館事務室まで、徒歩15～20分程度。



○最寄り駅までのご案内

【最寄り駅】 阪急電鉄今津線 「門戸厄神」駅

- ・阪急大阪「梅田」駅から最寄り駅まで
→「梅田」駅から神戸線神戸三宮方面行き「特急」で、「西宮北口」駅まで約12分。
→「西宮北口」駅で今津線宝塚行き普通に乗り換え、「門戸厄神」駅まで1駅約2分。
- ・阪急「神戸三宮」駅から最寄り駅まで
→「神戸三宮」駅から神戸線梅田行き特急で、「西宮北口」駅まで約14分。
→「西宮北口」駅で今津線宝塚行き普通に乗り換え、「門戸厄神」駅まで1駅約2分。
- ・阪急「宝塚」駅から最寄り駅まで
→「宝塚」駅から今津線西宮北口行き普通で、「門戸厄神」駅まで約12分。

◆ 教育方針 ◆

キリスト教の理念を基盤とした一貫教育を目指している。創立以来、土曜日にも休日とする週5日制を実施し、毎朝礼拝をおこない、日曜日の教会出席を奨励している。戦時下の宗教教育の困難な時代にも、キリスト教教育の伝統を守り、時代の試練に耐える強さも兼ね備えている。外国人教師による授業、交換留学、ホームステイ制度など、国際色豊かな全人教育を目指している。

神戸女学院中学部

2025年度 生徒募集要項

1. 募集人員 第1学年 女子約135名

2. 受験資格 2025年3月小学校卒業見込みの者で、合格後、本校に通学可能な者。

3. 出願手続き

(1) 期 間

2024年12月23日(月) 9時～2025年1月10日(金) 17時

(2) 出願方法

Webにて出願を受け付けます。インターネットに接続可能なPC、スマートフォンなどをご用意ください。

①出願専用サイトへの登録（ログオンアカウントの作成）

- ・本校ホームページの「受験生の皆様へ」から「Web出願サイト」に入ってください。（「Web出願サイト」は12月23日(月) 9時から稼働します）
- ・メールアドレス（本校からの連絡に使う場合があります）、受験生氏名・生年月日を入力し、パスワードを設定してください。

②志願者情報の登録と考査料の支払い

- ・「Web出願サイト」にログオンして、上部「写真管理」メニューのとおり顔写真データ（3ヶ月以内に撮影の上半身像、背景無地、カラー）をアップロードし、志願者情報と保護者情報を入力してください。
- ・入学考査料支払い方法を選択し、考査料24,000円をお支払いください。（考査料支払い期間は出願期間と同じです。手数料は志願者負担でお願いします）

③調査書

- ・本校ホームページの「受験生の皆様へ」から「中学部入学試験案内」を開き、「調査書についてのお願い」をプリントアウトし、在籍小学校に調査書の作成を依頼してください。

④調査書の郵送

- ・必ずレターパックライトを使用し、厳封された調査書を入れて投函してください。（2025年1月10日(金) 必着）
- ・「Web出願サイト」の出願申込履歴から本学の宛名票のプリントアウトが可能となりますので、それを貼付してください。（用紙は必ずA4白色無地を使用）

⑤受験票の発行

2025年1月14日(火) 13時以降に「Web出願サイト」からプリントアウトして受験日両日とも必ず持参してください。（用紙は必ずA4白色無地を使用し、切り取り線で切り取ったものをご準備ください）

4. 入学試験

- (1) 試験当日の集合時間、持ち物等と付添保護者へのお願いに関しては、9月24日(火)より本校ホームページの「受験生の皆様へ」から「中学部入学試験案内」を開き「入学試験要項」をダウンロードしてください。

(2)	2025年1月18日(土)	午 前		午 後	
		1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限
		国 語 50分	算 数 50分	社 会 45分	理 科 45分
	2025年1月20日(月)	午 前			
		体 育 実 技			

(注1) 2日目の体育実技を欠席した場合は不合格となります。

(注2) 身体的事情で体育実技試験の受験に困難を感じる受験生の方はご相談ください。

5. 合 否 判 定

国語・算数各120点、社会・理科各100点、体育実技20点（合計460点）
および調査書の総合判定によります。

6. 合 格 発 表

2025年1月21日(火)13時～1月23日(木)12時まで、「Web出願サイト」にて合格発表を行います。

☆学校内掲示はいたしません。

☆電話等による問い合わせには一切応じられません。

7. 入 学 手 続 き

「Web出願サイト」の「ダウンロードの書類」から「入学の準備」をダウンロードしてください。（入学申込金の振込先情報や入学手続き時の提出書類についての記載がありますので、必ずご確認ください）

①第1回の手続きはご来校いただく必要はございません。

②第2・3回の各手続きは、受験番号別に時間帯を指定しておりますので、指定時間帯のご都合の良い時間にお越しください。所要時間は、通常1時間以内です。
理由なく手続きを完了しない場合は、合格が取り消されます。

・第1回手続き日：2025年1月23日(木)12時までに納付金（入学申込金と協力金）をお振込みください。

☆納入された納付金は、理由のいかんにかかわらず返金いたしません。

ただし、入学手続き完了後、2025年2月5日(水)12時までに所定の入学辞退届を提出した場合は、協力金のみ返金いたします。

・第2回手続き日：2025年1月25日(土)10時～15時【保護者1名のみ】
所定手続きと物品購入等

・第3回手続き日：2025年3月1日(土)10時～15時【保護者1名とお嬢様】
写真提出と物品購入等

8. 納 付 金

2025年度の納付金については下記のとおりです。

入学申込金	400,000円	（第1回入学手続き時に納付。入学後に入学金として取り扱う）
協 力 金	100,000円	（第1回入学手続き時納付）
授 業 料（年額）	420,000円	（入学後各学期分納）
教育充実費（年額）	277,800円	（入学後各学期分納）

(注) 以上のほかに学年会計費、旅行積立金、P.T.A.会費、生徒会費等があります。
また、神戸女学院高等学部への進学時には入学金が必要です。

■ 中学入試データ

◆ 入試状況 ◆

年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
募集人数	135 名	135 名	135 名
志 願 者	229 名	254 名	229 名
受 験 者	227 名	250 名	228 名
合 格 者	155 名	159 名	154 名
合格最高点	349 点 (460 点満点)	361 点 (460 点満点)	337 点 (460 点満点)
合格最低点	233 点 (460 点満点)	261 点 (460 点満点)	260 点 (460 点満点)

2024 年度 体育実技テスト (20 点)

- ・バスケットボール (5 号ボール) のシュート (20 秒間)
- ・縄とび [二重とび] (20 秒間)
- ・マット運動 [後転]
- ・ハンドボール投げ

2023 年度 体育実技テスト (20 点)

- ・バスケットボール (5 号ボール) のシュート (20 秒間)
- ・縄とび [二重とび] (20 秒間)
- ・マット運動 [後転]
- ・ハンドボール投げ

2022 年度 体育実技テスト (20 点)

- ・バスケットボール (5 号ボール) のシュート (20 秒間)
- ・縄とび [二重とび] (20 秒間)
- ・マット運動 [後転]
- ・ハンドボール投げ

◆ 入試科目別 ◆

非公表

過去3ヶ年入試問題の分析と対策 ― 神戸女学院中 ―

		2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
	国語	①物語文 〔漢字の書き取り、言葉の意味、四字熟語、空欄補充、選択肢、抜き出し、具体化の記述〕 ②随筆 〔抜き出し、選択肢、具体化の記述、品詞の識別〕 ③詩 〔具体化の記述、抜き出し、選択肢、理由の記述〕	①物語文 〔選択肢、具体化の記述、理由の記述、心情の記述〕 ②随筆 〔漢字の書き取り、言葉の意味、具体化の記述、選択肢、四字熟語〕 ③詩 〔連分け、具体化の記述、選択肢、主題〕	①物語文 〔具体化の記述、慣用表現、心情記述〕 ②論説文 〔具体化の記述、理由の記述、抜き出し〕 ③詩 〔具体化の記述〕 ④語句 〔対義語〕 ⑤語句 〔品詞の識別〕	物語文、論説文、詩という文章3題に加え、今年度は語句の独立問題2題が出題された。設問形式としては記述問題偏重であるのは例年通り。 50分の試験時間に対して内容理解に踏み込んだ問題が多く、時間配分に注意が必要である。過去問を使って制限時間内に問題をうまく取捨しながら解いていく練習を積むことが大切である。設問の意図を読み取って要点をとらえる読解が要求されるため、しっかりととした読解力を養成しておかなければならない。記述問題に関しては、字数制限の有無、指定字数の長短など、多様なかたちでの出題に対応する力が必要である。常に要素を意識して問題に取り組むとよい。
	算数	①数の性質（倍数と余り） ②文章題（仕事算、不定方程式） ③数の性質（約分できない分数の群数列） ④平面図形（角度、周りの長さ、面積） ⑤場合の数（すころく） ⑥立体図形（求積、水位）	①数の性質（3進法） ②割合（相当算、倍数変化算） ③立体図形（切断） ④数の性質（倍数の分布） ⑤立体図形（くりぬいた後の立体の体積と表面積） ⑥平面図形（相似と面積）	①文章題（つるかめ算、不定方程式） ②割合（売買） ③平面図形（図形の移動） ④数の性質（図形の規則性） ⑤立体図形（水そうグラフ） ⑥速さ（旅人算）	規則性、割合、数の性質、立体図形の求積、平面図形と比などの問題がよく出る。難度順に並んでいないことが多いので、取り組みやすい問題から確実に解き進めていきたい。解答用紙は2枚に分かれていて、すべての問題に求め方を書かせる欄がある。平面図形、立体図形、速さの問題では比をうまく使って解くことが重要。また、グラフを読ませたり描かせたりして考えさせる問題も多いので、普段の学習の中でも意識して比を使ったり、変化をグラフに表したりする練習を十分に積んでおく必要がある。
神戸女学院中	理科	①天気 ②岩石と地層 ③生物総合（正誤判定問題） ④食物連鎖と環境問題 ⑤燃焼と気体 ⑥方位磁針の性質と構造	①生物総合（正誤判定問題） ②生物総合（記述問題） ③太陽と月の動き・太陽光発電 ④気体の体積変化・混合溶液の体積 ⑤ふりこの周期	①生物総合（正誤判定問題） ②雑草の生え方と身の周りの植物 ③星座とその通り道 ④台風 ⑤気体の燃焼と力による体積変化 ⑥水の体積変化、密度と浮力	制限時間45分。今年度は生物と地学が2題、化学と物理が1題ずつの6題だが年度により異なる。総問題数は47問とやや多いうえ計算も多く、やや難度が上昇したと思われる。例年、広範な知識や論理的に考える力が試され、記述式の問題も多い。計算問題や時事問題にも注意が必要である。 生物を中心とした幅広い知識を身につけたり、その他、日頃から様々な事柄に関心を持ち、論理的な思考力を養っておきたい。問題文を読み取り、理解する力は相当程度に必要。記述問題や図・グラフ等を描かせる問題も多く出るので、練習をしておきたい。
	社会	①地理（日本の主な河川から） ②地理（日本の工業） ③歴史（飛鳥時代から室町時代にかけての人物） ④歴史（徳川家光、吉宗、慶喜） ⑤公民（政治分野の正誤問題）	①地理（地方別の農業、漁業、工業の生産額） ②地理・歴史融合（四国旅行の計画から） ③歴史（古墳から弥生時代にかけての遺跡や古墳） ④歴史（吉田茂について） ⑤公民（国際連合） ⑥公民（政治分野の正誤問題）	①地理（8つの内陸県から） ②地理（宮城県） ③歴史（有馬温泉の歴史） ④歴史（明治時代～大正時代の年表から） ⑤地理歴史融合（南西諸島の島々の地図から） ⑥公民（政治分野の正誤問題）	大問数、小問数、検定教科書からの出題とも多く、設問のほとんどが漢字指定になっているところは例年通りである。3分野のバランスは、地理・歴史・公民がほぼ3：3：1となっており、地理の問題数がやや増えている。また、記号と番号の一致など完全解答と思われる問いが多くなっている。 対策としては、資料集や地図をよく使い、周辺知識も取り込むこと。検定教科書にもしっかりと目を通すこと。その上で、日頃から漢字でしっかりと書くようにしていきたい。

■ 特訓概要（今年度版）

◆ 開催校 ◆

西宮北口本校

◆ 受講基準 ◆

「公開模試」の4科目平均偏差が56以上、3科目の平均偏差が59以上、

「思考力育成テスト」の4科目平均順位が330位以内、3科目平均順位が300位以内

※「公開模試」「思考力育成テスト」とも受験が必須です。

◆ 指導教科 ◆

水曜日…算数（Zoom）

日曜日…国語と算数は毎週実施、理科と社会は隔週実施

（例）1週目：国語・算数・理科 2週目：国語・算数・社会

◆ クラス編成 ◆

5年生後期（9月～）の学習力育成テスト、公開模試（2倍換算）の平均偏差値、思考力育成テストの関西平均順位によって2組（上位クラス）と1組（下位クラス）のクラス分けを行います。その後、ほぼ1ヵ月単位でクラス替えをしていきます。後期も、ほぼ同様にクラス替えを実施していきます。

◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	水曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	神戸女学院特訓 （算数） ※Zoom	理科	算数 社会	学習力育成テスト※ ・公開模試 神戸女学院特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成（実践）テスト

（本科クラス）国語 150 分・算数 200 分・理科 150 分・社会 100 分

（本科発展クラス）国語 200 分・算数 250 分・理科 150 分・社会 100 分

◆ 授業時間 ◆

<前期>

	特訓 2 組		特訓 1 組	
日曜 特訓	09:00～12:20	学習力育成テスト 公開模試	09:00～12:20	学習力育成テスト 公開模試
	12:20～12:40	食事休憩	12:20～12:40	食事休憩
	12:40～14:30	算数 (110 分)	12:40～14:30	国語 (110 分)
	14:45～16:25	社会または理科 (100 分)	14:45～16:35	算数 (110 分)
	16:35～18:25	国語 (110 分)	16:45～18:25	社会または理科 (100 分)
	18:25～19:25	ふり返し (60 分)	18:25～19:25	ふり返し (60 分)
水曜 特訓	19:00～21:15	算数 (135 分) ※Zoom	19:00～21:15	算数 (135 分) ※Zoom

<後期>

	特訓 2 組		特訓 1 組	
日曜 特訓	09:00～12:20	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試	09:00～12:20	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
	12:20～12:40	食事休憩	12:20～12:40	食事休憩
	12:40～14:30	算数 (110 分)	12:40～14:30	国語 (110 分)
	14:45～16:25	社会または理科 (100 分)	14:45～16:35	算数 (110 分)
	16:35～18:25	国語 (110 分)	16:45～18:25	社会または理科 (100 分)
	18:25～19:25	ふり返し (60 分)	18:25～19:25	ふり返し (60 分)
水曜 特訓	19:00～21:15	算数 (135 分) ※Zoom	19:00～21:15	算数 (135 分) ※Zoom

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

◆ 特訓保護者会 ◆

年 4 回実施 (3 月, 6 月, 9 月, 11 月ごろに実施) ※予定

第 1 回保護者会 (3 月頃) … 特訓授業の指導方針、家庭学習上の留意点など

第 2 回保護者会 (6 月頃) … 夏期指導方針、効果的な学習法など

第 3 回保護者会 (9 月頃) … 後期指導方針、効果的な学習法など

第 4 回保護者会 (11 月頃) … 入試まで 70 日の学習法、併願校など

◆ 特訓イベント ◆

① シミュレーションテスト

年 1 回実施 (12 月頃を予定)

② 私学の魅力 徹底研究 (6 月頃を予定) ※その他も複数予定。

◆ 特訓カリキュラム ◆

	回数	国語	算数		理科	社会
			水曜	日曜		
前期 (2月～7月)	1	入試問題研究①	立体図形Ⅰ	平面図形①	実力テスト	地理① 地形の基礎
	2	入試問題研究②	数論Ⅰ	立体図形①		
	3	説明文 指示語	数論Ⅱ	数論①	力学①	地理② 都道府県の形の確認
	4	説明文 具体化説明①	数論Ⅲ	文章題①		
	5	説明文 理由説明①	数論Ⅳ	割合と比①	植物①・②	地理③ 地形、農水産業の確認
	6	入試問題研究③	数論Ⅴ	平面図形②		
	7	物語文 心情説明①	場合の数	立体図形②	動物	地理④
	8	物語文 心情説明②	文章題Ⅰ	数論②	人体①	工業の確認
	9	物語文 理由説明②	文章題Ⅱ	割合と比②	人体②	地理⑤
	10	入試問題研究④	文章題Ⅲ	場合の数①	地表面の変化	日本と関係の深い国々
	11	説明文 空欄補充	割合と比Ⅰ	文章題②	星・太陽	歴史① 歴史資料の確認①
	12	説明文 具体化説明②	割合と比Ⅱ	速さ①		
	13	説明文 理由説明③	平面図形Ⅰ	平面図形③	月	歴史② 歴史資料の確認②
	14	入試問題研究⑤	平面図形Ⅱ	立体図形③		
	15	物語文 心情説明③	平面図形Ⅲ	数論③	気象	歴史③ 歴史資料の確認③
	16	物語文 具体化説明③	平面図形Ⅳ	速さ②		
	17	物語文 暗示・象徴	速さⅠ	場合の数②	化学①・②	歴史④ 歴史資料の確認④
	18	入試問題研究⑥	速さⅡ	割合と比②		
	19	説明文 総合問題①	速さⅢ	数論④	化学③	歴史⑤
	20	物語文 総合問題②	速さⅣ	速さ③	熱と燃焼	時代区分の50
夏期	1	入試問題研究	入試問題研究		音・光	政治①
	2	入試問題研究	入試問題研究		電気①・②	政治②
	3	入試問題研究	入試問題研究		力学②・③	入試問題研究
後期 (9月～1月)	1	入試問題研究	立体図形Ⅱ	入試問題研究	単元別問題研究	入試問題研究
	2	入試問題研究	立体図形Ⅲ	入試問題研究		
	3	入試問題研究	立体図形Ⅳ	入試問題研究		
	4	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究	単元別問題研究	入試問題研究
	5	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	6	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		教科書対策①
	7	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究	単元別問題研究	入試問題研究
	8	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	9	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	10	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究
	11	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	12	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		教科書対策②
	13	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究
	14	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	15	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究		
	16	入試問題研究	テーマ別問題演習	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究

※国語と算数の「入試問題研究」は、実戦的に1年分を解く回と、大問を1題ずつ扱い、演習形式で取り組む回があります。

■ 国語の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

- ・ 入試 1 コマ目に実施 試験時間： 50 分
- ・ 物語文と論説文が中心で、随筆や詩、語句関連も出題される。
- ・ 高度な読解力、問題の意図を正確に読み取り的確にまとめる力などが必要である。

◆ 前期特訓の内容 ◆

『最上級読解演習』を使用しながら、文章ジャンル別、設問内容別に文章読解に取り組む。

- ・ 入試問題によく出てくる設問内容の中でも、

「指示語」

「具体化」

「理由」

「心情」

「暗示・象徴」

を取り上げ、文章内容の好き嫌いにとらわれない、設問内容別の解き方を身に付けていく。

- ・ 多くの問題を解くのではなく、ひとつの問題にじっくり取り組み、神戸女学院の高度な入試問題においても確実に得点できるような思考力、記述力を培う。近年の入試では指定字数の長い、短いにかかわらず記述問題が多く出題されており、それに対応できる力を付けることは国語で得点する上で必須と言える。
- ・ 4 週に 1 回、最難関校の入試問題を解く機会をつくり、時間配分などの実戦力を養う。

◆ 後期特訓の内容 ◆

神戸女学院の過去の入試問題を解き、実戦力を身に付ける。本番の入試のように試験時間 50 分で全ての問題に取り組む回と、大問 1 題ずつを演習形式で解き進める回とを設けている。

入試問題は近年特に記述問題が多く、また出題される文章も長くなっている。50 分という限られた時間内でいかに得点するかが重要となるため、特訓でも「何を」「どのように」答えるかを常に意識して問題に取り組んでもらう。

間違えた問題の直しや、解き筋の確認をきちんと行うことが大切である。

■ 算数の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

- ・入試 2 コマ目に実施 試験時間： 50 分
- ・数論、速さ、立体図形、平面図形などがよく出題される。
- ・難度順に並んでいないことが多い。
- ・解答用紙が 2 枚ついており、途中式や考え方も見られる。

◆ 前期特訓の内容 ◆

日曜特訓

「神戸女学院特訓 総合問題演習プリント」を使い、単元別に学習を進める。

平面図形	…第 1, 6, 13 回
立体図形	…第 2, 7, 14 回
数論	…第 3, 8, 15, 19 回
文章題	…第 4, 11 回
割合と比	…第 5, 9, 18 回
場合の数	…第 10, 17 回
速さ	…第 12, 16, 20 回

宿題では授業で扱った問題の数値替えの問題に取り組み、さらなる定着を図る。

また、水曜特訓で学習した内容の確認テストを行う。

水曜特訓

「単元別テキスト」を使い、zoom によるオンライン授業を行う。

本科の授業内容のうち、神戸女学院の入試でよく出る部分を中心にテーマを絞り込み、反復練習による定着を図る。基本問題を解説し、その後で類題を演習する形式で構成している。

◆ 後期特訓の内容 ◆

日曜特訓

神戸女学院の過去の入試問題を扱って授業を行う。

本番の入試のように試験時間 50 分で全ての問題に取り組む回と、大問 1 題ずつを演習形式で解き進める回とを設けている。解くべき問題と、後回しにする問題を見極める目を養うことで、確実に得点できる力を身に付ける。

水曜特訓

「単元別テキスト」を使い、zoom によるオンライン授業を行う。

テーマ別問題演習として、難関校の入試問題レベルの問題を演習する。

■ 理科の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

- ・入試、最後の4コマ目に実施 試験時間： 45 分
- ・大問の数は年度によって変わる。(ここ数年は6～8題)
- ・広範な知識と論理的な思考力が試される。

◆ 前期特訓の内容 ◆

「特訓テキスト【最難関】」を使用する。実際の入試問題で構成されたテキストを使うことで実戦を意識した取り組みを繰り返す。また、問題を演習することによって、実戦力をつける。

授業では解説をよく聞くことによって、今までの知識にとどまらないもっと広く深い知識を身につけていく。

また、授業では小テストを実施するので、知識の定着度合いをはかることができる。

第1回 植物のつくりと働き	第11回 水溶液
第2回 植物どうしのつながりと影響	第12回 中和
第3回 動物の特ちょうとつながり	第13回 熱と燃焼
第4回 人体①	第14回 音の性質
第5回 人体②	第15回 光の性質
第6回 地表面の変化	第16回 回路を流れる電流の強さ
第7回 星・太陽	第17回 電流と発熱・磁力
第8回 月	第18回 力とつり合い①
第9回 気象	第19回 力とつり合い②
第10回 気体と化学反応	第20回 力と運動

◆ 後期特訓の内容 ◆

神戸女学院の出題傾向に合わせて、4分野（物理・化学・生物・地学）の単元別演習と神戸女学院の過去の入試問題を扱う。

入試本番と同様に制限時間を設けて演習し、演習後に解説授業を行う。これにより入試問題で合格点を得るための戦略や、各問題を解くための戦術を学習する。

■ 社会の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

- ・ 入試、昼食後の 3 コマ目に実施 試験時間： 45 分
- ・ 小問数が多く、例年 80～90 問程度出題される。
- ・ 教科書からの細かい出題が 3 分野（地理・歴史・政治）ともみられる。
- ・ 3 分野の中で歴史の比重がやや高い。
- ・ 歴史の人名以外にも、漢字指定が増加している。
- ・ 統計を扱う問題などは少なく、幅広い知識が求められている。

◆ 前期特訓の内容 ◆

授業

- ① 前回配付プリントからの小テスト
⇒ 不合格者には再テストあり。
- ② 女学院特訓用プリント
⇒ 実戦的な視点での補強を行う
- ③ 「前期特訓テキスト」
⇒ 重要単元の確認および問題演習を行う。

宿題

- ① 授業の復習と教材の残りの部分
 - ② 次回の小テスト対策
- ※ 夏期特訓授業から過去問演習（入試問題研究）も始める。

◆ 後期特訓の内容 ◆

入試問題をはじめから最後まで解く回と、教科書対策プリントを入れて部分的に解く回がある。入試問題を全部解く回は得点も出し、知識不足のところをより強く意識し、弱点補強に向かう気持ちを持つのに役立てていく。

教科書対策についてはプリントを利用して行う。このプリントはテーマ別にまとめられており、日能研の教材には出ていないが、小学校の教科書に書いてある細かい内容などを確認していくことができる。また、教科書対策の一環として、1 問 1 答式の問題集も配付する。これに繰り返し取り組みすることで、知識の定着をはかる。